

**植草学園大学、敬愛短期大学、淑徳大学、千葉経済大学短期大学部および千葉明德短期大学
と保育の未来を共につくる相互連携に関する協定を締結します！
～保育人材の育成・確保と保育の質のさらなる向上に連携して取り組みます～**

千葉市と植草学園大学、敬愛短期大学、淑徳大学、千葉経済大学短期大学部および千葉明德短期大学は、保育人材の育成や保育の質の向上に関する連携協定を締結するので、お知らせします。

また、同協定の締結式を行いますので、併せてお知らせします。

1 協定締結の背景・目的

現在、国の保育政策は「量」から「質」への転換が進められている中、千葉市の保育需要は引き続き高い水準で推移していくことが見込まれており、保育人材の確保と資質向上が重要な課題となっています。

市内の保育士養成を担う大学、短期大学においては、長年にわたり保育人材の養成に取り組んでいただいているところですが、より一層の保育人材の確保および資質の向上のため、保育士養成を担う大学、短期大学が一体となり、千葉市と相互に連携しながら専門的な資源等を活用し、地域の子ども・子育て環境の向上に取り組むことで「こどもまんなか社会」の実現に寄与することを目的とした相互連携に関する協定を締結します。

2 連携事項

- (1) 保育人材の育成および確保に関すること
- (2) 保育の質の向上および課題解決のための知的資源、人的資源および物的資源の活用に関すること
- (3) 子育て支援を通じた地域社会との交流に関すること
- (4) その他、協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

3 協定締結式

(1) 日時

令和8年5月14日（木）15：30～16：15

(2) 場所

市役所高層棟4階 市長応接室

(3) 出席者

学校法人植草学園 植草学園大学 学長 くわな しゅんいち 桑名 俊一 様
学校法人千葉敬愛学園 敬愛短期大学 学長 なかやま ゆきお 中山 幸夫 様
学校法人大乗淑徳学園 淑徳大学 学長 やまぐち こうじ 山口 光治 様
学校法人千葉経済学園 千葉経済大学短期大学部 学長 さくま かつひこ 佐久間 勝彦 様
学校法人千葉明德学園 千葉明德短期大学 学長 よしだ あらた 由田 新 様
千葉市長 神谷 俊一

<参考>

1 植草学園大学について

植草学園大学は、明治37(1904)年に徳育を建学の精神として設立され、道徳心を養い、豊かな人間性を培う教育方針をかかげ、教育・研究に取り組み続けて、令和8(2026)年で122年目を迎えました。発達教育学部発達支援教育学科においては、障害や困難性のある子どもにも、ない子どもにも、一人一人に的確に対応できるインクルーシブ教育・保育の研究を進めるとともに、こうした教育・保育に対応できる幼稚園教諭、保育士を養成しています。

2 敬愛短期大学について

敬愛短期大学は、昭和25(1950)年に設立され、令和6(2024)年4月に佐倉市から千葉市稲毛区に移転しました。「敬天愛人」を建学の精神とし、現在、学生249名が現代子ども学科で学んでいます。幼稚園教諭、保育士の養成を主な目的とし、子ども一人一人の個性を理解できる温かな人間観を醸成するため、実習・模擬授業等に力を置き「実践的な学修」を実施しています。

3 淑徳大学について

淑徳大学は、「利他共生」を建学の精神として昭和40(1965)年に設立され、開学当初より60年にわたり、福祉や教育分野をはじめ社会に貢献する人材を輩出しています。福祉分野においては、社会福祉士、精神保健福祉士をはじめ、保育士として多くの卒業生が活躍しています。建学の精神である「他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」という精神のもと、実学教育に重きをおき、社会に有為な人材育成に取り組んでいます。

4 千葉経済大学短期大学部について

千葉経済大学短期大学部は、昭和43(1968)年に商経科を設置して開学、昭和52(1977)年に初等教育科が設置され、両科はビジネスライフ学科とこども学科に改組されて現在に至ります。こども学科は保育現場に欠かせない、広い視野とやわらかな心を持った人間性豊かな保育士・幼稚園教諭を目指す保育コース、2年間で小学校教諭・幼稚園教諭の免許が同時に取得できる初等教育コース、子ども・子育てに関わるさまざまな業種を目指すキッズビジネスコースの3コースを設置し、将来の夢を全力でサポートしています。

5 千葉明德短期大学について

千葉明德短期大学は、「明明徳」、すなわち人が天から得たすぐれた能力、生まれながらに持っている人間性(=明徳)を輝かせる(明らかにする)ことを建学の精神とする保育創造学科のみの単科の短期大学です。保育を「創造的な営み」と捉え、体験から学ぶカリキュラムを通じて、他者と信頼を築き、自らのありさまを問い続ける保育者を育成します。また、系列園や地域と連携した「総合保育創造組織」を形成。現役保育者との対話や子育て支援の場を通じ、社会の要請に応えながら新たな保育を創造し続けています。